



市議会5月定例会で 可決されました

5月11日～6月6日に開催された市議会5月定例会の
主な内容を紹介します。

●条列案件

●積立基金条例の一部改正

サッカースタジアムの利用促進、プロサッカーチームのホームタウン関連施策の推進、スポーツ施設とその環境の整備に対する資金積み立てのためにスポーツ推進基金を設置します。

●予算案件

●私立保育所整備費助成事業

3億3653万円
待機児童の解消に向け、

保育所の整備を行う社会福祉法人に対し、その整備費用を助成します。

賃貸物件に係る保育所改修等支援事業 2400万円

待機児童の解消に向け、賃貸物件を改修し、保育所を創設する事業者に対し、その改修費用を助成します。

審議内容は8月1日発行の市議会たよりに掲載されます。

すいたくわいですよ～



みんなに吹田くわいを育ててもらい、もっと好きになってもらおうと、吹田くわいのバケツ植え付け里



親体験を市役所で実施したよ。吹田くわいは生命力が強いからバケツでも簡単に育てられるんだ。

みんな収穫まで水やりや観察をしながら大切に育ててくれるって。参加してくれた千里金蘭大学の学生さんは、収穫した吹田くわいを使って料理のレシピを考えてくれるんだよ。どんなおいしい料理を作ってくれるんだろう。今から楽しみ～。

千里山駅周辺整備事業が 全建賞受賞



千里山駅周辺の様子

市と都市再生機構(UR)が千里山駅周辺において総合・一体的に行った公共施設整備などと市民との協働のまちづくりが、一般社団法人全国建設技術協会が設ける「全建賞」の住宅部門を受賞しました。

同整備事業は、平成28年に完了したもので、踏切の安全性の確保のほか、駅前公共広場や自転車駐車場、コミュニティセンターなどの駅前都市機能の形成、都市計画道路の整備、UR団地の建て替えなどを行いました。

平成28年度全建賞は応募322事業のうち77事業が受賞し、住宅部門の受賞は当事業を含め3事業。

No.24

市長コラム



こも水び通り

後藤圭二

チューニング

高校生の時、AMラジオの深夜放送を聴いていました。東京の放送局の番組を聴くために、周波数を合わせ、さらに電波が入りやすい方角を探して、ラジオのアンテナの向きをミリ単位で調整したものです。

FMもそうですが、このような作業を「チューニング」と言います。微調整が自動化された今、耳にすることが少なくなりましたが、私は市政を行う上で二つのチューニングを意識しています。

一つは満足度のチューニングです。どんなことでもそれぞれ事情と言い分があり、どちらも立てるのは難しいときがあります。そこで、皆さんの

満足度の合計を最大にするために、行政と議会が精一杯知恵を出し合っています。必要なのは傾聴と対話による、地道で繊細な調整作業です。

もう一つは、平時と有事における対応のチューニング。普段はじっくり聴く。しかし大災害などいざと言うときは、たとえ情報が不十分であっても市民の命を最優先に判断し、速やかに行動する。丁寧な対話と大胆な決断、目盛り合わせを間違えると、取り返しのつかないことになります。

どちらも一朝一夕ではできません。日々、アンテナを張り巡らせて、自分の感度を高めなければならないと感じています。